

具体的な実施事項

◎計画の策定(Plan)

環境目標及び環境配慮活動プログラムの設定

- 環境管理責任者（環境土木部長）⇒「環境目標」を毎年度当初に設定する。
（「中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画」に基づく。）
- 環境管理事務局（環境政策課）⇒「環境配慮プログラム」一覧を設定
- 各課及び各施設 ⇒ 環境管理事務局が設定した「環境配慮活動プログラム」の一覧から、各々の組織の特性等を考慮し、実施の可否を検討し、設定する。

◎実施・運用(Do)

- ①マネジメント研修（環境管理責任者実施）
管理者（地球温暖化対策推進員を含む）、新規採用職員及び環境監査員等に対する研修を実施。
- ②職場研修（各職場において実施）
地球温暖化対策推進委員は、上記研修の内容に基づき、年に1回以上職場研修を実施する。
- ③プログラムの実施

◎点検・報告(Check)

- ①エネルギー使用実績等の把握
地球温暖化対策推進員は、電力や燃料等のエネルギー使用量を毎月把握し、入力する。（様式あり）
- ②活動状況の点検と評価
地球温暖化対策推進員は、職場全体の環境配慮活動プログラムの活動状況及び法令・条例の遵守状況を確認し、評価する。（毎月記録・様式あり）
- ③定期的な成果の報告 四半期ごとに「環境目標確認書」・「環境配慮活動報告書」を環境管理事務局に提出
- ④是正措置
- ⑤内部環境監査の実施（環境管理責任者により実施）
- ⑥成果の取りまとめ
環境管理事務局は毎年度、中央区EMSの活動状況等を取りまとめて実績報告書を作成する。

◎見直し(Act)

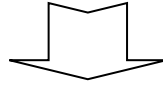
区長は、内部監査結果及び実績報告書の内容を踏まえて、システム全体の見直しの検討を行い、必要な場合は見直しを実施する。

◎成果の公表

環境管理事務局は活動実績等をホームページ等で毎年度公表する。

1. 環境マネジメントシステム改定の目的

- 平成22年度より、「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」や「東京都環境確保条例」に基づき、エネルギー使用量の届出や削減計画、取り組み結果の報告が義務化されるなど、エネルギー使用等の管理が強化された。
- あわせて、区では地球温暖化対策推進法に基づき、平成23年度より「中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画」を改定し、平成21年度比で温室効果ガスを3%削減することを目標としている。



新環境マネジメントシステム(中央区EMS)

- *「省エネ法」・「東京都環境確保条例」の届出等や「中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画」の削減目標を踏まえて、新たなマネジメントシステムの構築を図る。
⇒効果的で効率的なシステムとする。
- *ISO14001の文書化を徹底することを評価する仕組みから、新システムでは、より取組内容を評価する仕組みとする。

2. 主な変更点

旧システム ISO14001

新システム 中央区EMS

ISO14001規格に基づく環境マネジメントシステム	⇒	独自のマネジメントシステム (ISO14001認証を更新しない)
環境への負荷または保全にかかわる事務事業すべてを管理対象	⇒	省エネルギー活動およびエネルギー管理に重点
<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎 ・日本橋特別出張所等複合施設 ・月島特別出張所等複合施設 ・中央区保健所等複合施設 	⇒	学校を含む区の全組織・施設 (指定管理施設にも区の施設に準じた取組を求める)
各課の事務事業を対象に、毎年度「環境目的・環境目標」「環境マネジメントプログラム」を策定	⇒	「中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画」の削減目標実現のため、環境目標と環境配慮活動プログラムを設定
環境側面調査ほか所属課が作成し、事務局が取りまとめるなど多数文書の管理が煩雑	⇒	管理する文書の一部を簡素化する
(監査テーマ)ISO14001規格、取組状況主としてシステム運用過程が守られていて、文書化されていることを評価する仕組み	⇒	(監査テーマ)省エネルギーの取組み オフィス業務・施設管理における温室効果ガス排出抑制の実効性を確保するため、省エネルギー・省資源対策を主要な監査対象とする
外部審査機関によるISO14001規格の審査により認証取得	⇒	外部審査を廃止 取り組み実績を区民等へ公表(ホームページ等)することで外部評価に代える

平成24年度 環境目標達成状況

部 門	指 標	基準年度 使用量 (平成21年度)	削減目標		平成24年度		基準年度に 対する 増減率	達 成 状 況 評 価
			削減率	削減量	使用量等	増減 (H24-H21)		
本 庁 舎	電気(kWh)	2,140,567	-8.8%	-188,370	1,846,866	-293,701	-13.7%	○
	ガス(m³)	92,056	-3.0%	-2,762	76,654	-15,402	-16.7%	○
	水道(m³)	17,633	-3.0%	-529	16,812	-821	-4.7%	○
	用紙類(kg)	65,830	-3.0%	-1,975	64,040	-1,790	-2.7%	×
	ごみ(廃棄量)(kg)	18,367	-3.0%	-551	18,855	+488	2.7%	×
	燃料(ℓ)	134,302	-3.0%	-4,029	135,259	+957	0.7%	×
	CNG(m³)	596.33	-3.0%	-18	501	-95	-16.0%	○
	車両走行距離(km)	448,576	-3.0%	-13,457	450,913	+2,337	0.5%	×
	地域冷暖房(MJ)	0	+0.0%	+0	0	+0	*****	***
大規模施設 総合スポーツセンター マイホームはるみ 中央会館	電気(kWh)	7,374,022	-8.1%	-597,296	6,321,391	-1,052,631	-14.3%	○
	ガス(m³)	602,097	-0.5%	-3,213	550,449	-51,648	-8.6%	○
	水道(m³)	90,009	-3.0%	-2,700	92,490	+2,481	2.8%	×
	用紙類(kg)	3,762	-3.0%	-113	2,627	-1,135	-30.2%	○
	ごみ(廃棄量)(kg)	80,856	-3.0%	-2,426	70,055	-10,801	-13.4%	○
	燃料(ℓ)	19,481	-0.5%	-104	17,469	-2,012	-10.3%	○
	CNG(m³)	0.00	+0.0%	+0	0	+0	*****	***
	車両走行距離(km)	104,046	-0.5%	-555	76,775	-27,271	-26.2%	○
	地域冷暖房(MJ)	0	+0.0%	+0	0	+0	*****	***
区立学校	電気(kWh)	9,168,987	-4.1%	-375,928	9,271,363	+102,376	1.1%	×
	ガス(m³)	1,357,288	-4.1%	-55,588	1,352,103	-5,185	-0.4%	×
	水道(m³)	183,195	-3.0%	-5,496	187,051	+3,856	2.1%	×
	用紙類(kg)	54,898	-3.0%	-1,647	53,468	-1,431	-2.6%	×
	ごみ(廃棄量)(kg)	198,093	-3.0%	-5,943	204,913	+6,820	3.4%	×
	燃料(ℓ)	432	-4.1%	-18	0	-432	-100.0%	○
	CNG(m³)	0.00	+0.0%	+0	0	+0	*****	***
	車両走行距離(km)	0	+0.0%	+0	0	+0	*****	***
	地域冷暖房(MJ)	0	+0.0%	+0	2,309,786	+2,309,786	*****	***
その他の施設	電気(kWh)	23,725,108	-3.3%	-782,929	22,139,881	-1,585,227	-6.7%	○
	ガス(m³)	908,920	-3.3%	-30,110	1,011,844	+102,924	11.3%	×
	水道(m³)	317,025	-3.0%	-9,511	327,636	+10,611	3.3%	×
	用紙類(kg)	73,894	-3.0%	-2,217	37,715	-36,179	-49.0%	○
	ごみ(廃棄量)(kg)	231,957	-3.0%	-6,959	229,474	-2,483	-1.1%	×
	燃料(ℓ)	249,354	-3.3%	-8,260	181,710	-67,644	-27.1%	○
	CNG(m³)	31551.96	-3.3%	-1,045	20,463	-11,089	-35.1%	○
	車両走行距離(km)	220,474	-3.3%	-7,304	303,744	+83,270	37.8%	×
	地域冷暖房(MJ)	9,544,380	-2.0%	-190,888	9,846,582	+302,202	3.2%	×
合 計	電気(kWh)	42,408,684	-4.6%	-1,950,799	39,579,501	-2,829,183	-6.7%	○
	ガス(m³)	2,960,361	-3.1%	-91,672	2,991,050	+30,689	1.0%	×
	水道(m³)	607,862	-3.0%	-18,236	623,989	+16,127	2.7%	×
	用紙類(kg)	198,384	-3.0%	-5,952	157,850	-40,534	-20.4%	○
	ごみ(廃棄量)(kg)	529,273	-3.0%	-15,878	523,297	-5,976	-1.1%	×
	燃料(ℓ)	403,569	-3.1%	-12,411	334,438	-69,131	-17.1%	○
	CNG(m³)	32,148	-3.3%	-1,063	20,964	-11,184	-34.8%	○
	車両走行距離(km)	773,096	-3.0%	-21,316	831,432	+58,336	7.5%	×
	地域冷暖房(MJ)	9,544,380	-2.0%	-190,888	12,156,368	+2,611,988	27.4%	×

平成25年度 環境目標

部 門	指 標	基準年度 使用量 (平成21年度)	削減目標	
			削減率	削減量
本 庁 舎	電気(kWh)	2,140,567	-8.8%	-188,370
	ガス(m ³)	92,056	-3.0%	-2,762
	水道(m ³)	17,633	-3.0%	-529
	用紙類(kg)	65,830	-3.0%	-1,975
	ごみ(廃棄量)(kg)	18,367	-3.0%	-551
	燃料(ℓ)	134,302	-3.0%	-4,029
	CNG(m ³)	501.00	-3.0%	-15
	車両走行距離(km)	448,576	-3.0%	-13,457
	地域冷暖房(MJ)	0	+0.0%	+0
大規模施設 総合スポーツセンター マホーはるみ 中央会館	電気(kWh)	7,374,022	-8.1%	-597,296
	ガス(m ³)	602,097	-0.5%	-3,010
	水道(m ³)	90,009	-3.0%	-2,700
	用紙類(kg)	3,762	-3.0%	-113
	ごみ(廃棄量)(kg)	80,856	-3.0%	-2,426
	燃料(ℓ)	19,481	-0.5%	-104
	CNG(m ³)	0.00	+0.0%	+0
	車両走行距離(km)	104,046	-0.5%	-555
	地域冷暖房(MJ)	0	+0.0%	+0
区立学校	電気(kWh)	9,168,987	-4.1%	-375,928
	ガス(m ³)	1,357,288	-4.1%	-55,588
	水道(m ³)	183,195	-3.0%	-5,496
	用紙類(kg)	54,898	-3.0%	-1,647
	ごみ(廃棄量)(kg)	198,093	-3.0%	-5,943
	燃料(ℓ)	432	-4.1%	-18
	CNG(m ³)	0.00	+0.0%	+0
	車両走行距離(km)	0	+0.0%	+0
	地域冷暖房(MJ)	0	+0.0%	+0
その他の施設	電気(kWh)	23,725,108	-3.3%	-782,929
	ガス(m ³)	908,920	-3.3%	-30,110
	水道(m ³)	317,025	-3.0%	-9,511
	用紙類(kg)	73,894	-3.0%	-2,217
	ごみ(廃棄量)(kg)	231,957	-3.0%	-6,959
	燃料(ℓ)	249,354	-3.3%	-8,260
	CNG(m ³)	20,463	-3.3%	-678
	車両走行距離(km)	220,474	-3.3%	-7,304
	地域冷暖房(MJ)	9,544,380	-2.0%	-190,888
合 計	電気(kWh)	42,408,684	-4.6%	-1,950,799
	ガス(m ³)	2,960,361	-3.1%	-91,470
	水道(m ³)	607,862	-3.0%	-18,236
	用紙類(kg)	198,384	-3.0%	-5,952
	ごみ(廃棄量)(kg)	529,273	-3.0%	-15,878
	燃料(ℓ)	403,569	-3.1%	-12,411
	CNG(m ³)	20,964	-3.3%	-693
	車両走行距離(km)	773,096	-3.0%	-21,316
	地域冷暖房(MJ)	9,544,380	-2.0%	-190,888

※ 環境目標値の設定について

- 中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画のエネルギー使用量削減目標を基本に環境目標を設定している。ただし、電気については平成23年度以降、節電の取り組みを継続しているため削減目標率を上げている。
- CNG燃料は車両減少に合わせて、前年度（平成24年度）の使用量を基準値としている。

温室効果ガス排出量等の目標及び実績

温室効果ガス総排出量年度比較(単位：t-CO2)

数量的目標	平成21年度	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	排出量	排出量	増減(H22-H21)	排出量	増減(H23-H21)	排出量	増減(H24-H21)
平成27年度までに3%削減	22,138	24,242	2,104 9.5%増	21,466	-672 3.0%減	21,417	-721 3.3%減
	既存分 22,138	24,121	1,983 9.0%増	21,466	-672 3.0%減	21,184	-954 4.3%減
	新規分 0	121	121 0.5%増	0	0 -	233	233 1.1%増

策定対象項目

個別項目	数量的目標	平成21年度	平成22年度		平成23年度		平成24年度		温室効果ガス量 単位:t-CO2	CO2 全体に対する割合	固有単位 排出量	
		使用量等	使用量等	増減(H22-H21)	使用量等	増減(H23-H21)	使用量等	増減(H24-H21)				
電気使用量(kWh)	3%削減	42,408,684.1	43,876,568.3	1,467,884.2 3.5%増	38,778,560.6	-3,630,123.5 8.6%減	39,579,501.2	-2,829,182.9 6.7%減	13,140.4	61.35%	0.332 kg-CO2/kWh	
都市ガス 使用量(m ³)		2,960,361.0	3,518,813.0	558,452.0 18.9%増	3,080,676.0	120,315.0 4.1%増	2,991,050.3	30,689.3 1.0%増	6,670.0	31.14%	2.23 kg-CO2/m ³	
燃料 使用量		ガソリン(ℓ)	71,683.5	72,677.9	994.4 1.4%増	70,914.1	-769.4 1.1%減	72,275.2	591.7 0.8%増	167.7	0.78%	2.32 kg-CO2/ℓ
		灯油(ℓ)	1,150.0	1,070.0	△80.0 7.0%減	232.0	-918.0 79.8%減	246.0	-904.0 78.6%減	0.6	0.00%	2.49 kg-CO2/ℓ
		軽油(ℓ)	48,312.4	130,711.5	82,399.1 170.6%増	135,312.4	87,000.0 180.1%増	139,082.3	90,769.9 187.9%増	358.8	1.68%	2.58 kg-CO2/ℓ
		A重油(ℓ)	200,300.0	218,050.0	17,750.0 8.9%増	208,808.0	8,508.0 4.2%増	116,900.0	-83,400.0 41.6%減	316.8	1.48%	2.71 kg-CO2/ℓ
		CNG(m ³)	32,148.0	31,856.6	△291.4 0.9%減	23,613.9	-8,534.2 26.5%減	20,964.0	-11,184.0 34.8%減	46.7	0.22%	2.23 kg-CO2/m ³
液化石油ガス (kg)		0.0	0.0	0.0 ---	3,084.9	3,084.9 ---	5,934.7	5,934.7 ---	17.8	0.00%	3 kg-CO2/kg	
地域冷暖房エネルギー使用 量(MJ)	2%削減	9,544,380.0	11,378,165.0	1,833,785.0 19.2%増	10,067,873.0	523,493.0 5.5%増	12,156,368.0	2,611,988.0 27.4%増	692.9	3.24%	0.057 kg-CO2/MJ	

その他の項目

水道使用量(m ³)	3%以上削減	607,862.0	631,904.0	24,042.0 4.0%増	606,639.0	△1,223.0 0.2%減	623,988.7	16,126.7 2.7%増
用紙類購入量(kg)	3%以上削減	198,384.0	159,456.0	-38,928.0 19.6%減	162,690.4	-35,693.6 18.0%減	157,850.1	-40,533.9 20.4%減
廃棄物排出(廃棄)量 (t)	3%以上削減	529.3	482.8	△46.5 8.8%減	547.0	17.7 3.4%増	523.3	△6.0 1.1%減
リサイクル率の向上 (%)	5%以上	44.9	43.9	1.0 Pダウン	41.5	3.4 Pダウン	43.8	1.1 Pダウン
低公害車の導入(%)	87%以上	86.2 56/65台	88.4 61/69台	2.3 Pアップ	91.0 61/67台	4.9 Pアップ	92.5 62/67台	6.4 Pアップ
		主な増減要因※1		○浜町集会施設「浜町メモリアル」 (平成22年4月開設) ○人形町保育園等複合施設 (平成22年10月開設)		○晴海こども園、晴海児童館 (平成24年12月開設) ○明石小学校、中央小学校 (平成24年9月から新校舎)		

※1 ○増加要因(新規施設)、●減少要因(施設改修)

※2 温室効果ガス総排出量には、自動車(ガソリン・LPG及び軽油)の走行やカーエアコンの使用、非常用発電機による軽油使用を発生原因とする、メタン等を含む。

※3 燃料使用量《軽油》は、平成21年12月からコミュニティバスの運行を含む。

※4 小数点以下の端数処理により、各項目の積上げが合計数値と合わない項目もある。